

横田基地騒音の激化について問う

谷 四男美 議員（住民）

町長 特に大きな変化は見られない



町上空を飛ぶ戦闘機

昼夜間の飛行回数など、これまでと特に大きな変化は見られない。また、横田基地所属以外の飛来機についても、目視あるいはデータ上で監視しているが、輸送基地からジェット戦闘機訓練基地へと、機能が変質している状況は見取れない。よって、自衛隊航空総隊司令部の移駐に関する発言で、騒音の激化がもたらされている事実は確認できない。



質問 最近の基地騒音は騒音の質が変化している。特に夜間の騒音は受忍限度を超えている。本来のC-130が常駐する輸送基地からジェット戦闘機が訓練する基地へと変質してきていると思う。これは議会の正式な承認のないまま、航空自衛隊航空総隊司令部移駐を突然町長が容認表明した結果、騒音の激化が顕著となったのではないかと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 特別区競馬組合から正式な意見を求められた時点で、町長としての意見を表明する。こんな質問もありました
場外馬券売り場進出について町長の考えは。

LED街路灯・青色防犯灯の積極的な活用を提案する

齋藤 成宏 議員（民主）

町長 駅前広場整備などで導入予定



質問 LED街路灯を積極的に設置することにより、省エネ対策やCO2削減効果、保守交換コスト削減などの環境対策や効率性に期待できる。また、青色防犯灯は犯罪発生を抑



LED照明導入予定の駅前広場

止や心理的な癒しの効果、白色灯に比べて見通しの良さなどから導入を進める地域も増えている。住民の生活を第一に考え、これらの活用を提案する。そこで町長に次の2点を伺う。

問① 今後の街路灯交換分のLEDへの切り替えは、町長 器具の交換時期をとらえて、取り組んでいく。また、箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業の駅前広場整備において、歩行者空間用の照明や広場の照明に導入する予定である。

問② 青色灯について調査を進めるべき。
町長 安全安心まちづくり協議会とも鋭意見交換をしているところであるが、設置個所はまだ特定していない。先進自治体では、青色防犯灯の効果の確認作業が始まっているので、その状況をふまえ、さらに調査研究していく。

こんな質問もありました
改正臓器移植法への取り組みは。
町長 国民健康保険被保険者証への意思表示を23年度の更新時に導入予定。

町独自で発達支援コーディネーターの育成を

下野 義子 議員（公明）



町長 教育委員会と連携していく

質問 発達障害は子どもによって様々な特徴があり、それに合わせた対応や、支援が必要とされる。また、保護者への助言や支援、周

りの人の理解も必要不可欠である。文部科学省は、専門家、学校、家庭、地域が連携して支援する事を推進しているが、幼稚園や保育園を含め、支援体制を拡充すべきである。各園にも発達支援コーディネーターを置いて早い時期から支援を進められるよう、育成事業を推進すべきと思うが、町長の所見

を伺う。
町長 発達障害児の早期支援を図るためには、発達支援コーディネーターが配置されること、最も好ましいこととは思っている。しかし、専門的知識を持つ人材は少なく、育成にも時間がかかることから、現時点で、現場を預かる保育士などの知識の向上を図ることが先決である。最も現実的な対応であると考えている。



他市で実施されているコーディネーター研修

今後、発達障害児の成長にあわせ、保育現場での総合的な対応能力と継続性を確保するため、教育委員会とも連携していく。

スカイホールへの進入路改善を

高水 永雄 議員（自民）

教育長 利用者の安全確保に努め注意していく



スカイホールへと続く急な坂道

質問 スカイホールが完成して20年が経過し、その間、多くのイベントや行事を開催し町民への文化・芸術の振興に寄与してきた。身近で一流の芸能など見聞でき、心の安らぎや明日への活力を与えている施設でもあるが、利用者の利便性を考えると改善の余地があると思われる。そこで、次の点を教育長に伺う。

問① 現状をどのように認識しているか。
教育長 施設の老朽化が進み、大規模修繕が必要な時期がきている。

問② 収容力に対する駐車場の整備を。
教育長 大きな催し物を開催するときには、グランドを駐車場として使用しているのが、現在のところ新たな駐車場の増設は考えていない。

問③ 歩行者の進入路を改善すべきと思うが、
教育長 歩車道を分離し利用者の安全確保に努め、引き続き注意していく。

こんな質問もありました
住民参加のまちづくりは。
町長 町民と行政が地域課題を共有し、地域力の向上を推進する。